



令和6年度 学校アンケート結果

下記の数値は、「そう思う」、「ややそう思う」、「あまり思わない」、「そう思わない」の4つの選択肢のうち、「そう思う」及び「ややそう思う」の肯定的な回答の割合(%)を合計したものです。 **青=90%超 赤=80%未満**

		教職員		児童		保護者				
		7月	12月	7月	12月	7月	12月			
やさしい子	1	本校は、児童が「学校は楽しい」と感じるような指導や工夫に努めている。	96.0	95.2	あなたは、学校は楽しい。	85.6	86.3	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	94.6	88.4
	2	本校は、児童の心の居場所となるような、温かな学級づくりに努めている。	100	95.3	あなたは、友だちとなかよく生活している。	92.3	95.7			
	3	本校は、いじめに対して未然防止、早期発見、早期解決に努めている。	100	100	あなたは、「いじめをゆるさない」と思っている。	86.6	94.9	お子さんは、「いじめを許さない」という気持ちが高まっている。	92.4	93.2
	4	本校は、自己肯定感や自己有用感を高めることができる場面の設定や指導を行っている。	92.0	95.2	あなたは、自分にはよいところや得意なことがある。	88.4	87.4	お子さんは、自信を持って何事にも取り組んでいる。	78.4	73.9
	5	本校は、児童が場に応じたあいさつや返事について、すべての教育活動を通して指導している。	88.0	90.5	あなたは、きちんと元気なあいさつをしている。	76.1	91.3	お子さんは、「おはよう!」行ってきます」等のあいさつや返事をきちんとできている。	89.6	88.0
	6	本校は、きまりを守り、仲良く協力して生活することの大切さをしっかりと指導している。	96.0	100	あなたは、学校や生活のきまりを守って生活している。	88.7	90.6	お子さんは、日常生活の中で、ルールやマナーを守り、生活することができる。	86.5	90.8
まなぶ子	7	本校の授業は、「アウトプット」、「試行錯誤」、「振り返り」を重視して、わかりやすい授業を展開している。	88.0	95.2	あなたにとって、学校の授業はわかりやすい。	85.6	90.3	お子さんは、学校の授業内容をおおかた理解できていると思う。	76.4	83.1
	8	本校の授業は、児童一人一人が課題意識をもって、主体的に学び合う活動を確保している。	84.0	90.5	あなたは、授業中、進んで考えたり、友だちと教え合ったりすることができている。	86.3	91.3			
	9	本校の授業は、児童の論理的表現力や言語活動の向上に努めている。	84.0	95.2	あなたは、「式・図・言葉」「まず、次に、だから」などを使って、自分の考えをわかりやすく伝えている。	75.0	80.5	お子さんは、語彙(ボキャブラリー)が増え、表現力が豊かになっていると思う。	82.3	87.0
	10	本校は、家庭学習を習慣化させるための手立てを工夫し、定着に努めている。	88.0	90.5	あなたは、1・2年生20分以上、3・4年生40分以上、5・6年生60分以上、家庭学習をしている。	63.7	70.8	お子さんは、家庭学習が習慣化し、自ら進んで取り組んでいる。	55.3	60.4
	11	本校は、年間読書50冊の達成を目指し、読書の楽しさにふれさせたり、読書の機会を設定したりするなど工夫している。	96.0	95.2	あなたは、年間50冊以上を目標に、読書をがんばっている。	77.8	87.0	お子さんは、家庭でも進んで本を読んでいる。	34.8	38.2
たくましい子	12	本校は、体育の授業を中心に休み時間に外遊びを励行して、児童の体力向上に努めている。	100	100	あなたは、体育や休み時間に元気に運動している。	81.0	91.0	お子さんは、進んで運動し、体力を高めている。	65.1	63.8
	13	本校は、「早寝・早起き・朝ご飯」や規則正しい生活について、適切に指導している。	84.0	85.7	あなたは、「早寝・早起き・朝ご飯」を毎日、こころがけている。	78.5	79.4	お子さんは、「早寝・早起き・朝ご飯」など、規則正しい生活をしている。	82.1	81.7
	14	本校の給食では、献立の栄養について知らせ、好き嫌いをなく食べられるように指導している。	88.0	90.5	あなたは、給食中、好き嫌いをしてしないで、よく食べることができる。	66.2	75.1	ご家庭では、お子さんに好き嫌いをしないで、栄養バランスよく食べるなど、適切な食生活ができている。	62.0	64.7
	15	本校は、健康診断の結果をもとに、医療機関への受診を促している。	100	100	あなたは、健康診断の結果に注意して、病院に行ってきたりとおそうとしている。	84.2	88.1	ご家庭では、学校での健康診断の結果を踏まえ、積極的な医療機関への受診を心がけている。	92.8	91.8
	16	本校は、自転車乗車時のヘルメット着用を含め、交通安全を適切に指導している。	92.0	95.2	あなたは、自転車に乗る時のヘルメット着用を含め、交通安全のルールをきちんと守っている。	84.9	95.3	お子さんは、自転車乗車時のヘルメット着用を含め、交通安全のルールをきちんと守っている。	90.3	87.9
働き方改革	17	本校は、在校時間の短縮など、働き方改革が改善されつつあると思う。	92.0	100						
	18	本校は、コンプライアンスを遵守し、不祥事が起きにくい学校であると思う。	100	100						
	19	本校は、教育活動の発信に努めている。	92.0	100	あなたは、おうちで学校の話をよくしている。	75.7	80.9	学校の様子は、各種たより等やホームページ、お子さんの話を通じて、よく伝わっている。	84.7	82.1
	20	本校の教員は、人権感覚を磨き、その言動にも十分配慮している。	96.0	100	先生は、やさしく接してくれている。	89.4	91.7			
	21	本校の職員は、常に児童の話に耳を傾け、悩みや不安に応えようと努めている。	100	100	先生は、あなたの話をよく聞いてくれる。	86.3	92.1	学校は、お子さんの話に耳を傾け、悩みや不安に応えようとしていると思う。	83.1	78.8

在籍人数	305	307	305	307
回答数	286	277	224	207
回答率 %	93.8%	90.2%	73.4%	67.4%

○学校評価について

本校は学校教育法第42条、学校教育施行規則第66条、文科省の学校評価ガイドラインにもとづき、学校評価を行っています。その一環として以下のとおり、4つのチームが1、2学期末に実施した教職員・保護者・児童のアンケート結果と各種データにもとづき自己評価を行いました。そして2月5日(水)、学校運営協議会内で学校関係者評価を行い、その自己評価について、さらに検証・評価を行いました。

グループ目標		2025年1月		
小目標	具体的な取組	検証(エビデンス) ※7月→12月	自己評価 次年度の改善方策	
1 基本的な生活習慣を身に付けている児童の育成	○あいさつ運動の実施 ・保護者と児童による月1回のあいさつ運動の実施	○あいさつについて 【教職員】 ・本校は、児童が場に応じたあいさつや返事について、すべての教育活動を通して指導している。 88.0%→90.5% 【児童】 ・あなたは、きちんと元気なあいさつをしている。 76.1%→91.3% 【保護者】 ・お子さんは、「おはよう」「行ってきます」等のあいさつや返事をきちんとできている。 89.6%→88.0%	A	○あいさつ運動の強化 ・運動会後の6月あたりくらいから、週1回を目安に、たてわり学級で、あいさつ運動を行う。 ・名人選出は、メンバーが固定されているため、次年度はあいさつ運動に特化していく。 ○基本的な生活習慣の定着 ・基本的な生活習慣を定着させるための着目目標を月1回教室に提示していく。
	○名人選出 ・あいさつ名人選出 ・元気名人選出 ・姿勢名人選出	○しじめについて 【教職員】 ・本校は、いじめに決して未然防止、早期発見、早期解決に努めている。 100%→100% 【児童】 ・あなたは、いじめをゆるぎないと思っている。 86.6%→94.9% 【保護者】 ・お子さんは、いじめを許さないという気持ちが高まっている。 92.4%→93.2% ○その他 【児童】 ・あなたは、学校は楽しい。 85.6%→86.3% ・あなたは、友だちと楽しく生活している。 92.3%→95.7% ○参考 ・いじめの認知件数(11月まで) 91件(R5:111件) ・不登校件数(欠席30日以上 12月まで) 16件 5.2%(R5:30件 7.6%)	B	○いじめフォーラムの開催 ・令和6年度は人権集会でいじめの題材を中心に実施していたが、講師からの話聴いたが、いじめフォーラムとした。 ・次年度は、4～5月いじめフォーラムを開催し、いじめに関する学級目標を発表する機会を設ける。 ○いじめ防止対策委員会の継続 ・いじめ防止対策委員会への参加は当該学級だけでなく、当該学年で参加し、密に共有できるようにしていく。
2 いじめを許さない児童の育成	○集会活動による啓発 ・いじめ防止集会(しじめフォーラム) ・人権集会	○道徳でしじめを題材にした授業の実施 ・生活アンケート ・命の授業	A	

A=大きな成果があった B=ほぼ達成 C=未達成 **本年度の総合的な評価 B**

<やさしい子チーム>

- ・本年度は「あいさつ」と「いじめ」に特化して、取り組んできた。
- ・あいさつについては、保護者の皆さまにご協力いただき、児童とともに月1回のあいさつ運動を行ったり、三和中生との合同あいさつ運動を実施したりしたことで、児童の数値が15%向上した。
- ・いじめについては、学校をあげて、いじめナビの活用や道徳、人権集会でその未然防止を図った。アンケート結果では「いじめを許さない」と思っている児童が増加したが、まだ児童・保護

者ともに100%には至っていない。今後も指導の継続が必要である。
○学校関係者評価では、全会一致で自己評価及び次年度の改善方策について適切であると認められた。

グループ目標		2025年1月		
小目標	具体的な取組	検証(エビデンス) ※7月→12月	自己評価 次年度の改善方策	
1 一人一人が生き生きと学ぶ授業の実現	○算数における授業改善 ・「まつださん」しずさんの活用 ・研究授業(市要請訪問)を実のある研修に	○授業について 【教職員】 ・本校の授業は、「アウトプット」「試行錯誤」「振り返りを重視して、わかりやすい授業を展開している。 88.0%→95.2% ・本校の授業は、児童一人一人が課題意識をもって、主体的に学び合う活動を確立している。 84.0%→90.5% ・本校の授業は、児童の論理的表現力や言語活動の向上に努めている。 84.0%→95.2% 【児童】 ・あなたにとって、学校の授業はわかりやすい。 85.6%→90.3% ・あなたは、授業中、進んで考えたり、友だちと教え合ったりすることができている。 86.3%→91.3% ・あなたは、「式・図・言葉」が、だからなどを使って、自分の考えをわかりやすく伝えている。 75.0%→90.5% 【保護者】 ・お子さんは、学校の授業内容をおおた理解できていると思う。 76.4%→83.1% ・お子さんは、授業(ポキッパプ)が増え、表現力が豊かになっていると思う。 82.3%→87.3% ○全国学力(6年生対象 4月実施) 国・算 県平均に届かず ○県学力診断テスト(1月実施) 5・6年生とも県平均超	B	○相手にわかりやすく伝える ・「まつださん」しずさんの活用を4月から実施できるようにしていく。今年度は、職員全体に共有できなかった。また、算数などの特定の教科だけでなく、他教科でも生かせるようにしていく。 ○定期的なノート展の実施 ・今年度は各学級でノート展を行ったが、全体に共有できなかった。そのため、教員の仕方も各学級任せになっていた。次年度は、学期ごと(2回)各学級でのノート展、また学期ごと(回全体での)ノート展を実施し、わかりやすい板書の仕方等を研究していきたい。
	○ノート指導の充実 ・構成図は板書計画の研修 ・ノート展の実施	○読書について 【教職員】 ・本校は、年間読書50冊の達成を目指し、読書の楽しさや面白さを伝え、読書の機会を定例化したりするなど工夫している。 96.0%→95.2% 【児童】 ・あなたは、年間50冊以上を目標に、読書ががんばっている。 77.8%→87.0% 【保護者】 ・お子さんは、家庭でも読んで本を読んでいる。 84.8%→88.2% ○参考 みんなにすすめたい事業(12月現在 4年生以上) 300冊(18名R5:18名) 100冊(123名(82.1% R5:176名))	A	○計画的な読書活動 ・月に○冊というように各学年、学級で決めて読書を行う。 ・読書郵便などのイベント、児童の読書状況の可視化、学級文庫の見直しは定期的に行ってきた。次年度も継続して実施していく。 ・家庭での読書時間が少ないため、家庭への協力の呼びかけをしていく。
2 読書活動の充実	○読書活動の活性化 ・読書イベントの企画 ・児童の読書状況の可視化 ・学級文庫コーナーの見直し			

A=大きな成果があった B=ほぼ達成 C=未達成 **本年度の総合的な評価 B**

<まなぶ子チーム>

- ・本年度は算数を中心とした学力向上と読書の充実に重点を置いて取り組んだ。
- ・11月には市教委指導主事を講師として招聘し算数の研究授業を実施し授業力向上に努めた。その結果、1月の県学力診断テストでは、4～6年生の算数において県平均を上回った。算数だけでなく他の教科においても県平均を超えることができた。
- ・読書については、おすすめの本を友だちにはがきで紹介する「読書郵便」のイベント開催、読書50冊達成の掲示物の作成・掲示、定期

的な読み聞かせの実施など、読書に対する意識向上に努めた。しかし、家庭での読書時間が少ないため、今後は家庭での読書習慣の定着に向け呼びかけを工夫していく。
○学校関係者評価では、全会一致で自己評価及び次年度の改善方策について適切であると認められた。委員からは今後も積極的に学習ボランティアを募り、学校での児童の様子を参観してもらおうとよいのではという意見があった。

< たくましい子チーム >

・本年度は、体力向上と交通安全を重点的に取組を行った。

・体力テストではその得点に応じてA～Eまでの5段階に分かれており、そのA+Bの割合がほとんどの学年で県平均を上回った。しかしD+Eの割合も4つの学年で県平均を上回り、二極化の傾向にある。次年度は実態に応じた体力の強化を図っていく。

・食事の好き嫌いについては、あまり望ましい結果が得られなかった。虫歯が多いことも原因の1つかもしれない。今後、家庭の協力を得ながら改善していきたい。

・児童の交通安全の意識については高い数値であった。次年度は正門等での立哨指導がなくなるので、さらなる交通ルールの遵守について徹底を図っていく。

○学校関係者評価では、全会一致で自己評価及び次年度の改善方策について適切であると認められた。

グループ目標		運動意欲を高め、自己管理能力の向上を目指す。		
小目標	具体的な取組	検証(エビデンス) ※7月～12月	自己評価	
1	進んで運動する児童の育成 青:評価が90%以上かなり成果が現れているもの 赤:評価が70%以下あまり成果が現れていないもの 黒:それ以外	○休み時間の運動量の確保 ・月1回の体育館でのクラス遊び ・なわとび、持久走等での元気アップタイム ○栄養指導の充実 ・外部講師による栄養教室 ・給食委員会による放送(栄養系、一口メモ)	○体力について 【教職員】 ・本校は、各育の授業を中心に休み時間に外遊びを奨励し、児童の体力向上に努めている。100%→100% ・本校は、各育や休み時間に元気に運動している。81.0%→81.0% 【保護者】 ・お子さん、週末で運動し、体力を高めている。65.1%→69.8% ○学年 体力テスト A+B: 54.0%(県平均49.5%) D+E: 25.3%(県平均24.5%)	B
	2	学校生活での児童の安全の確保 ○健康的な体つくり ・字活での歯みがき教室 ・家庭への姿勢動画呼びかけの工夫と強化 ○交通安全の推進 ・交通安全教室やヘルメット着用などの安全指導 ・下校集会による安全指導 ・通学路の現状確認と改善点 ・立哨による状況確認 ・通学路の危険箇所の確認	○健康診断について 【教職員】 ・本校は、健康診断の結果をもとに、医療機関への受診を促している。100%→100% 【保護者】 ・本校は、健康診断の結果に注意して、病院に行きとらぬよう促している。84.2%→88.1% ○歯検 ・本校では、学校での健康診断の結果を基に、積極的な医療機関への受診を心がけている。92.2%→91.8% ○虫歯 ・本校は、自校車庫前時のヘルメット着用を含め、交通安全を徹底し続けている。11月まで歯科医の受診率73.9%(65.0%未満) ○交通安全について 【教職員】 ・本校は、自校車庫前時のヘルメット着用を含め、交通安全を徹底し続けている。92.0%→95.2% ・本校は、自校車庫前時のヘルメット着用を含め、交通安全のルールをきちんと守っている。94.2%→95.2% 【保護者】 ・本校は、自校車庫前時のヘルメット着用を含め、交通安全のルールをきちんと守っている。90.2%→87.5% ○虫歯 交通安全啓発教 本年度0件	B

A=大きな成果があった B=ほぼ達成 C=未達成 本年度の総合的な評価 **B**

< 働き方改革チーム >

・本チームは、超過勤務時間の削減やコンプライアンスの遵守について取組を行った。

・業務改善のアイデアを募集し、改善できることから順次進めてきた。その結果、「働き方改革が改善されつつある」との意識が高まるとともに超過勤務時間についても減少傾向にある。ただし、業務分担で偏りが見られる部分があるので、次年度は分担の見直しを進めていく。

・コンプライアンスについては、月1回の校内研修を通して確実に意識が高まり、教員アンケート「本校は、コンプライアンスを遵守し、不祥事かおきにくい学校である」では100%に達している。

○学校関係者評価では、全会一致で自己評価及び次年度の改善方策について適切であると認められた。

グループ目標		気兼ねなく 頼り 頼られる 職員集団をつくる	
小目標	具体的な取組	検証(エビデンス) ※7月～12月	自己評価
1	働き方改革 抱え込まずに吐き出そう 一人でなく学年で 学年でなくブロックで 無言でなく話し合おう	・学期ごとに業務改善のアイデア募集 ○働き方改革について 【教職員】 ・本校は、在校時間の短縮など、働き方改革が改善されつつあると思う。92.0%→100% ○超過勤務時間(4～12月末まで) ・平均超過時間 26時間27分 ・45時間以内の割合 91.7%	A
	2	コンプライアンス 小じまわず 小さな気づきを みんなで共有しよう ーそれいいね ーこれってどう?ー	○コンプライアンスについて 【教職員】 ・本校は、コンプライアンスを遵守し、不祥事が起きにくい学校であると思う。100%→100%

A=大きな成果があった B=ほぼ達成 C=未達成 本年度の総合的な評価 **A**

児童及び保護者アンケートの自由記述につきましては、1月発行ずみの学校だよりにありますように、すべての記述を全教員で読み合わせ、課題を共有し対応できるものからすみやかに改善に取り組んでおります。またすべてではありませんが、皆さまのご意見について学校の考えや回答についても掲載させていただきましたので、ご参照ください。またこの結果に関しては、学校ホームページ上でも公開させていただきます。